



5 紹介教材「センサリーバッグ」



< ねらい、目的 >

Sensory (センサリー)とは、「感覚にかかわる、知覚の」といった意味があり、袋の形をしていることから、「センサリーバッグ」と呼ばれています。

センサリーバッグの中に、ジェル状の液体とキラキラしているものなどを入れることで、ムニムニともんでみたり、押ししたり、つまんだりして、「触覚」遊びを楽しむことができます。また、中に入れたアイテムが動く様子が面白く「視覚」遊びにもなります。

< 材料 > 家にあるもので作れます。100均でも買えます。

- ・フリーザーバック または チャック袋 (厚手のもの) 2枚
- ・保冷剤 または 洗濯のり (PVA)
- ・バックに入れるアイテム
(ビーズ ラメ キラキラテープ ポンポンボール など)
- ・テープ (補強用)



< 作り方 >

1. チャック袋に洗濯のりを入れる。

※袋が倒れないように、ガムテープの輪や器の中ですると良い。→

2. 好きなアイテムを入れて混ぜ、空気を抜いてチャックを閉める。

写真のアイテムはぶにゅぶにゅした触感がでる消臭ビーズ

※液体が漏れないようにチャック部分を折り曲げてテープで止める。

3. もう1枚の袋に入れて2重にする。

※四隅まで、ピッタリ収まったら空気を抜きながら外袋のチャックを閉める。

また、チャック部分を折り曲げてテープで止める。

4. 袋の周囲をカラーテープなどで補強するとより安全です。



< 使い方 >

・袋のサイズも、中に入れるアイテムも自由なので、手のひらで押ししたり、指先でつまんだりするなど、手指で感触を楽しむことができます。

・冷蔵庫の中で冷やしたり、お湯の中で温めたりすると温度の違いが味わえます。

・窓ガラスに貼り、光を当てながら触るようにすると、誤飲防止にも良いです。

< 発展 >

・大き目のフリーザーバックで頑丈に作ると、裸足で踏んでみることもできます。

・アイテムとしてカラーテープで作った金魚を入れ、背景に水槽の絵を入れると、絵本「きんぎょがにげた」の玩具ができます。

